

2022.12.1
No.686

発行 サカタプレスコーポレーション
〒320-0023 宇都宮市仲町2-18
電話 028(624)9339(代)
FAX 028(643)1498
E-Mail tonton@sakata-net.com

© Sakata Press Corp. 禁 無断転載

2022年12月号

坂田新聞店がメイド イン フランスの清酒をお届けします。

Tonton トントン

坂田新聞店 プレミアムグルメ便

フランス産の清酒 昇涙酒造「雷」^{ル トネール}〈Le Tonnerre〉をお届けします。

逆輸入!? フランス人が造るフランス産「SAKE」

早いもので師走となりました。年末年始はご家族などでお酒を開ける機会も増えるかと思えます。今月は、生産量も少なく非常に珍しいフランス産の清酒をご案内いたします。

ワインの銘醸地としても有名なローヌ地方で2016年に設立されたこの酒蔵は「昇涙(しょうるい)酒造」、仏語での名称は「Les Larmes du Levant(レラルム デュルヴァン)」といい、当主はフランス人のグレゴワール・ブッフ氏(以後グレッグ)です。元々料理人やバーテンダーをしていたグレッグは日本での旅行中に日本酒に魅せられ、後に鳥取県の梅津酒造で酒造りを学びました。彼の造る酒は食事と共に楽しむためのもので、純米酒、それも爛に向いたものです。「僕は伝統的で正真正銘本物の酒を造りたい。だからアロマティックでゴージャスな香りのするような酒にはしたくない。そしてこの伝統的なスタイルの酒がフランスの料理人やソムリエに逆に新しく感じられ、評価されているんだと思う」とグレッグ。「のんべえ」なイメージのある爛酒に少々抵抗のあった筆者ですが、彼の言う通り食事との相性は非常に良いもので、特に試飲時には生ハムとのマリージュに驚かされました。温かい酒が生ハムの脂の融点を越えてグッと旨味を引き出してくれるし、熟成した純米酒の重みのある酒質が生ハムの肉や塩味との相性が抜群だと感じました。長い間「生ハムにはスパークリングワインやシェリー酒こそ至上」と考えていたのが覆されました。まさかメイド・イン・フランスの清酒がこんなにも合うなんて。



グレゴワール・ブッフ氏



グレッグの酒は「トロワグロ」をはじめ三ツ星レストランでもオンリストされています。「フランスのソムリエは僕の酒の食材に対する適応範囲の広さを気に入ってくれているし、ムーブメントになりつつあると感じてる。そして温めて提供できる食中酒というのも個性的で食通達にうけている。ワインは料理を飲み込んだ後に口に含むけど、僕の酒は『旨味』がしっかりあって咀嚼中に飲みたくなるような、いわば口内調味を想定しているんだ」(グレッグ)。凄い! 派手でゴージャスな香りの冷酒を好んで飲んでいた筆者は目から鱗だ。情熱は国境を超え、すっかり熟成純米酒の爛酒に魅了されました。

今回ご案内するのは「雷」(仏語名はLe Tonnerre)という銘柄の純米酒です。「日本は和食も洋食も同じテーブルにあがる文化だね? 僕の酒と相性が良いからぜひ楽しんでもらいたい。できれば60℃くらいまで温めてね」。グレッグのお酒が買えるのは宇都宮で坂田新聞店だけです。ご注文は下記の番号までお電話ください。坂田新聞店でご購読のお客様には一本から送料無料でお届けいたします。

(咧酒師 坂田晃一 / JSA認定ソムリエ 生沼利一 / 取材協力 正木成幸)

坂田新聞店が清酒をお届け!!

昇涙酒造 / Les Larmes du Levant
フランス ロワール県ペルーサン(リヨンより50km南、ピラー山脈地域自然公園内)
「雷」^{ル トネール}〈Le Tonnerre〉 鳥取県産 玉栄 精米80%
3,740円(本体価格3,400円/720ml)
※ 予定数を超え欠品の際は数日お時間を頂戴します



旨味や味わいを残すため、あえてろ過はせず、米と麴、仕込み水や熟成等の手法から生まれた光沢ある自然な黄金色に。味わいはもちろん目でもお酒を楽しみましょう。

酒類販売管理者標識	
販売場の名称及び所在地	(有)坂田新聞店 宇都宮市仲町2-18
酒類販売管理者の氏名	生沼 利一
酒類販売管理研修受講年月日	令和2年6月1日
次回研修の受講期限	令和5年5月31日
研修実施団体名	栃木県小売酒販組合連合会

これはお酒です。20歳未満の者に対して酒類を販売しません
 ・20歳未満の者の飲酒は法律で禁止されています。・商品お届けの際、年齢の確認をさせていただきます。
 ・お電話で注文を受け付けますが、その際お手数ですが年齢を確認させていただきます。
 (坂田新聞店 代表者:坂田一郎 販売責任者:生沼利一 住所:〒320-0023 宇都宮市仲町2-18 ☎028-622-8131)

ご注文は坂田新聞店まで



0120-667-794

受付時間: 10時~16時(日・祝・休刊日を除く/12月の休刊日は12日)

- 電話または販売スタッフにお声かけください(坂田新聞店から新聞を購読しているご家庭に限ります)
- お届け先はご依頼主ご自宅となります ●食品につき商品の返品はご容赦願います ●一部お届けできない地域がございます